



**「第50回三条かぐら鑑賞会」を開催
50回目の節目を記念し全32舞演目を上演**

200年以上伝承され、新潟県指定無形民俗文化財である三条神楽を鑑賞する「第50回三条かぐら鑑賞会」を開催します。50回目の節目を記念し、全32舞演目を上演します。

【本件のポイント】

- 200年以上伝承されている三条神楽を鑑賞する「三条かぐら鑑賞会」の第50回開催を記念し、全32舞演目を上演
- 当鑑賞会は三条神楽への理解と保存を目的に50年前から実施

【本件の概要】

- 1 と き 10月2日（日）午前9時～午後5時30分
（午後0時30分～1時30分は休憩時間です。）
- 2 と ころ 中央公民館 大ホール
- 3 定 員 500人
- 4 演 目

さきちご 「先稚児の舞」 みやきよ 「宮清の舞」 ちきゅうらく 「地久楽の舞」 さかき 「榊の舞」 はがえし 「羽返の舞」 みやま 「深山
にしき 錦の舞」 ごこくちらし 「五穀撒の舞」 しじん 「四神の舞」 こゆみあそび 「小弓遊の舞」 ごぎょう 「五行の舞」 あまがわ 「天川の
舞」 すえひろ 「末広の舞」 いなだみや 「稲田宮の舞」 かけん 「花献の舞」 ぞうぎ 「杵樹の舞」 ぐうじ 「宮司舞」 おとめ 「乙女
舞」 あくまばらい 「悪魔祓の舞」 かみいさみ 「神勇の舞」 てんそんこうりん 「天孫降臨の舞」 さんざがえし 「三座返の舞」 とりかた 「鳥形の
舞」 たいへいらく 「太平楽の舞」 ふくじんあそび 「福神遊の舞」 くなど 「久奈戸の舞」 ちんごほこ 「鎮護鉾の舞」 ごこくさきげ 「五穀捧
の舞」 おおぼこ 「大鉾の舞」 いつつかたな 「五ツ刀の舞」 ほうけんさく 「宝剣作の舞」 いわとびらき 「岩戸開の舞」 ほうへい 「奉幣の
舞」（全32舞演目）

※各神楽舞の解説もあります。

- 5 参加方法 申込みは不要です。直接会場にお越しく下さい
- 6 ライブ配信

YouTubeでライブ配信します。右のQRコード又は市のホームページから御覧ください。



ライブ配信

■三条神楽について

市内6か所の神社に、全国でも珍しい32もの数多くの舞が伝承され、江戸時代の1811年には三条町八幡宮で演舞があったことが古文書に残っています。中には、刀匠の三条小鍛冶宗近が、天皇の命令により宝剣を作ることになり、彦と共に苦難を乗り越えながら完成させる「宝剣作の舞」があり、三条市の鍛冶の歴史も感じることができます。

昭和38年に新潟県指定無形民俗文化財に指定され、各神社の伶人による三条神楽保存会が保持や後継者育成による伝承に向けた取り組みを行っています。

■三条かぐら鑑賞会

三条神楽への理解と保存を目的に、50年前の昭和47年から年1回、毎年10月に実施しています。



ほうけんさく まい
「宝剣作の舞」

【問合せ】 三条市市民部 生涯学習課 文化財係 兼古

電話：0256-46-5205